



動画 2

時間割をつくるための準備

その 1 共通教養教育科目25単位をどのようにしてそろえるのか？

文化学部のカリキュラム

文化総合系

言語文化系

地域文化創造系

文化学部専門科目

国際文化領域

英語学領域

日本語学領域

日本文学領域

生活法文化領域

現代法文化領域

観光まちづくり領域

観光文化領域

地域づくり領域

地域文化領域

文化学部共通科目

共通教養教育科目

なるべく1~2回生のうちに単位を取得する

共通教養教育科目 25単位

63～65ページ

1. リテラシー科目 : 9単位以上

① **英語コミュニケーション I (2科目)** 4単位

必修単位

② 英語コミュニケーション I (2科目) 2単位

↑ 2回生で履修する

③ 情報処理概論、ITリテラシー、コンピュータリテラシー 3単位以上

いずれの科目も、開講時期が1年に1回、または2年に1回の科目ですので、
開講されているタイミングで受講してください

2. 教養基礎科目 : 2単位以上
3. 課題別教養科目 : 2単位以上
→ 「5 域学共生科目」の選択科目でもよい
4. 健康・スポーツ科目（5科目） : 2単位以上
 - ・ 健康スポーツ科学 I・II →実技

5. 域学共生科目（3科目）：4単位以上

・ 地域学概論 2単位 必修科目

隔年開講（1年おきに開講されます）

共通教養教育科目25単位のそろえかた

開講されている科目から、優先的に履修しましょう

科目区分		科目名 (例)	各区分で必要な最低単位数			
1	リテラシー科目	英語コミュニケーション I	4	2	残り7単位を 1～5の科目 から履修する	
		英語コミュニケーション II				
	情報系科目	3				
2	教養基礎科目		2			
3	課題別教養科目			2		
4	健康スポーツ科目	健康スポーツ科学 I (実技)	1	2		どちらか 一方から
		対人関係とメンタルヘルス など	2			
5	域学共生科目	地域学概論	2	2		どちらか 一方から
		地域学実習 I				
		地域学実習 II				
		土佐の歴史と文化 など				
合計単位数			14	4	7	
				18		

受講登録の際の注意

クラス分けのある授業

英語コミュニケーション履修上の注意

クラス分けのある授業

(1回生時)

配布資料⑥

英語コミュニケーションⅠ

地域学実習Ⅰ

基礎演習

4月の最初の説明会のときに、クラス分け表をお渡しします。
自分がどのクラスに分けられているのかを確認してください。

英語コミュニケーション I 履修上の注意

別表第1

共通教養教育科目

63ページ

1. リテラシー科目

授業科目	単位数	文化学部	
		必修	選択
英語コミュニケーションIA	2	4単位	2単位以上 3単位以上
英語コミュニケーションIB	2		
英語コミュニケーションIC	2		
英語コミュニケーションID	2		
英語コミュニケーションII 基礎プレゼンテーション	1		
英語コミュニケーションII 応用プレゼンテーション	1		
英語コミュニケーションII 基礎エッセーライティング	1		
英語コミュニケーションII 応用エッセーライティング	1		
情報処理概論	2		
ITリテラシー	2		
コンピュータリテラシー	1		
ビジネスリテラシー	2		
日本語表現法	2		

英語コミュニケーション I

① IA・IBが開講される年度と、IC・IDが開講される年度があります。

たとえば、A・Bが開講される年度にそれらの単位を落とすと、次は2年後の3回生になるまで開講の機会を待たねばなりません。注意しましょう。

② 第1回目の授業は「プレイスメントテスト」が行われます

日時や場所が発表されますので、連絡に注意しましょう。

③ 第2回目以降は、クラス分けがあります。

担当教員のMoodle（ムードル）のサイトを見て確認しましょう。

次は、時間割を作る準備として、文化学部専門教育科目の単位のそろえ方をみていきます。

3番目の動画をご覧ください。



この動画は、文化学部教務委員会が制作しています。